IYEO News Avenue

～遥かなる海を越えて～

News Letter
Vol.43
Spring 2019
季刊誌

特定非営利活動法人 青少年異文化交流推進協会

Be Smart IYEO!

Intercultural Youth Exchange Organization (NPO) Sapporo Chiba Hiroshima Fukuoka Miyazaki Perth Brisbane Wellington

JAOS 一般社団法人海外留学協議会 会員

TOPICS

＊特集:留学生たちからの声～留学体験談
＊アメリカ大学奨学金留学参加者からのおたより
＊アメリカ大学留学卒業者近況報告
＊アメリカ高校交換留学過去の参加者の近況報告
＊カナダ公立高校留学参加者の近況報告
＊Academic Year in Japan 参加者の体験談
＊アメリカ大学奨学金プログラム受講生
＊連載：世界のお祭り番外編 新しい元号
＊文科省による留学調査
＊活動報告＆お知らせ

特集 留学生たちからの声 留学体験談

アメリカ大学奨学金留学プログラム 参加者からのおたより

卒業にあたって

簑田優美さん（広島デスク）

『4年半過ごしたアメリカの大学(Lindenwood University)では今後起こるであろう多くの困難に打ち勝てる心の準備ができました。入学当初は憧れのアメリカにウキウキ楽しい毎日でしたが、最後の2年間は勉強と食事が苦しく卒業の事だけを考えて毎日過ごしました。卒業式を終えた今、この上ない喜びと達成感で気持ちがいっぱいです。

今年から生活が一変し新しい一歩を踏み出します。精一杯頑張りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。』

簑田さんは、昨年末 Lindenwood University (ミズーリ州) 卒業、1月からは、世界4大会計事務所の1つに数えられている税務法人に勤務しています。

最初のセメスターを終えて

石川菜野さん（広島デスク）

『こんにちは。Minnesota State University Moorhead に在籍中の石川菜野です。お元気でお過ごしでしょうか？

先週私のアメリカの最初のセメスターが終わりました。

まず成績からお話しすると6教科すべてにおいて A-grade をとることができました。

吉川さんから教えていただいたように、アメリカでの生活に慣れるためにも難しい教科は取らないようにし、General の科目を多く取りました。

今学期とった授業は

- TEFL104（international 用の英語です）
- Critical thinking
- Bus101
- Chinese culture
- Math124
- FYE（Freshman は必須の授業です。初めての大学生活に慣れるためという目的の授業なので、楽しく、ゲームのような授業ばかりでした）

どの授業を学んでいても思ったことは、日本でしっかりと勉強していてよかったなということです。どの授業でも根

本的なことは一緒なので、日本で学んだことが大いに活躍しました。といっても、最初は右も左もわからず、あたふたしていました。しかし、賢そうな生徒と友達になって一緒に勉強したり、教授のところに質問をしに行ったりして無事アメリカで初めての学期を乗り越えることができました。

生活面においても充実した日々を送っています。週末は友人と買い物に行ったり、料理を作ったりして楽しんでいます。

現地に来る前は、温暖な気候のもとで育った私が氷点下を余裕で超えるミネソタで暮らせるのか不安でした。しかし慣れとは不思議なものですね。最近ではマイナス３度ほどぐらいでは心地よいと思うほどになってしまいました。

次の Spring Semester ではより多くのことにチャレンジしようと考えています。まず一つとしてはキャンパス内で仕事を始めることです。やはり、友達と遊ぶとなるとお金がかかります。親のお金を使うのは気が引けるので、自分で手に入れたお金で生活面でもより楽しい生活を送りたいと思っています。

また、学校が提供している NSE Program（ National Student Exchange Program ）に申し込もうと思っています。この NSE Program では instate tuition、もしくは、私が在籍している大学と同じ授業料でアメリカ内の大学、もしくはカナダで勉強することができます。貴重な大学４年間をもっと有意義で素晴らしいものにするためにもいろんなことを経験し身に着けたいと思っています。詳しい事が決まり次第ご連絡させて頂きます。

長くなりましたが、近況報告でした。日本も徐々に厳しい寒さとなっている頃だと思います。くれぐれもお身体に気を付けてお過ごしくださいませ。』

MSU, Moorhead の NSE Program は、IYEO 広島デスクの先輩、石井果恋さんがこのプログラムを利用し、１年間、フロリダの大学で学んでいます。石川さんは、留学前に IYEO 広島デスクの HP で、石井さんの体験談(NSE について)を知り、絶対参加したいと思っていたとのこと！もし体験談を読んでいなかったら、NSE の存在について全く知らなかったかもしれません、とのことです。

アメリカ大学留学卒業者近況報告

粂野　爲寛君（広島デスク）

粂野 爲寛君は、University of Wisconsin, Madison 卒業後、放射性医薬品の国内トップメーカーとして知られる会社に勤務、アジア全体の医療の発展に寄与することを目的として昨年秋に新設された新規事業推進部で、中心的な役割を担っており、英語を使う機会も増えているようです。そんな彼から、近況報告のメールが届きました。

試合後の NSW ワラターズ ダリル・ギブソン監督（元オールブラックス）のインタビュー通訳

『吉川さん、八木さん、ご無沙汰しております。粂野です。お元気でしょうか？もう２月になってしまいましたが、、、本年もよろしくお願いいたします。

近況報告ですが、昨年は６月に開催の「秩父宮みなとラグビーまつり 2018」に通訳ボランティアとして参加しました。オーストラリアのスーパーラグビー２チームが来日して日本のプロチームと対戦するというイベントでして、私はレセプションパーティで司会者および来賓（遠藤元大臣、武井港区長、池田商工会議所港区会長等）挨拶の通訳、また試合後には NSW ワラターズ監督インタビューの通訳を務めました。

スポーツイベントで英語を使うことになるとは思っていませんでしたが、このボランティア募集を見た時に、パッと吉川さんと八木さんのお顔が浮かびまして、何かご縁を感じて申し込んだところ採用されました。

レセプションパーティ司会の通訳

今年のラグビーワールドカップと 2020 年の東京オリンピックについても通訳ボランティアとして参加予定です。米国留学中の日常生活で経験したボランティア精神を通じて、訪日外国人の方々に恩返ししたいですし、またホスト国の一人として大会成功に貢献できればと思っております。』

レセプションパーティでヘンリー・スパイト選手と（オーストラリア代表）

※通訳ボランティアを募集した IIBC の紹介サイト
http://www.iibc-global.org/iibc/activity/volunteer/rugby201806.html

アメリカ奨学金プログラムＣＡＰ受講生レポート

CAP(College Application Program)はIYEOの「留学準備のためのトレーニングプログラム」です。アメリカへの大学への出願手続き、エッセイの書き方の指導、アメリカでの生活の注意点など卒業までのトータルサポートを目的としています。今回は 2020 年夏出発予定のCAPの受講生にインタビューをしました。

●プログラムに参加しようと思ったきっかけは?
・自分が外国人と仕事をしたいと考え始めたので
・英語力を磨きながら、学びたい分野が学べると思った
・他のプログラムを調べたが、IYEOのプログラムのほうがお金の負担が抑えられる
・大学受験を２度失敗して、アメリカの大学に将来の可能性を感じたため
・合気道の先生に、プログラムを薦められて、興味を持ったため
・アメリカ大の模擬授業を受けて、興味を持ったため
・日本の暗記型の授業より、アメリカの解決側の授業が面白そうだったから
・ダブルメジャーができ、色々な学問を学ぶことができるから
●出発まで大変だと思うことやがんばっていることは?
・英語力の準備（IELTSスコアアップ、英語力アップ、エッセイの書き方など）
・BBCラジオを聴く、TEDでプレゼンテーションの勉強
・スピーキング練習でシャドウイング
・一度覚えた単語などをアウトプットする機会がなく、実践がむずかしい
●アメリカの生活で楽しみにしていることは?
・寮生活、大学での学習、異文化に触れること
・友達づくり
・アメリカでできた色々な国籍の人と友達になり、コミュニケーションをすること
・これまで会ったことのない国の人と話をしてみたい
●将来の夢は?
・翻訳者
・国連職員、通関士、途上国などの教育分野に関する仕事
・英語を使って、ほかの国の人々と仕事をしたい
・将来の夢はアメリカでの生活で見つけたい

アメリカ高校交換留学プログラム 過去の参加者の近況報告

鷹尾一之助君（福岡デスク）

『AYA から帰国し、早６年。私はミシシッピー州のウエストマリオン高校での交換留学を終え、今年の春より社会人となる年月を過ごしてまいりました。

まずはじめに、当時の理事でありました吉川様、私がお世話になりました福岡 IYEO デスクの岩下様に感謝の言葉を申し上げます。

現地の高校においての異文化交流、ホストファミリーとの家庭生活、友人との絆、ボランティア活動、日本文化の紹介など、17 才でなければできなかった貴重な経験を過ごさせていただきましたことは私の生きていく全ての場面において、大きな財産となりました。

今振り返ると、挑戦すること、我慢すること、自分を見つめること、学び続けることの大切さは、この経験により身についたように思えます。

IYEO 終了後は日本の高校に戻り、その後再びアメリカの大学生活を満喫しました。京都外国語大学の国際教養学部におきましては、次世代育成プログラム Future Leaders Program (FLP)に最後まで学業優秀者としての活躍ができたことは、様々な経験によって培った知識と、その時々に努力を惜しまなかったことの結果ではないのだろうかと感じております。

在学中はニューヨークにある国連本部での研修や、ニューヨーク JETRO での会社訪問など、自分の興味のあるものには積極的に参加し、見分を広めて参りました。また日本文化の心を習得するために、池坊の華道も趣味の一つとして学びました。

学業以外の精神的な成長も日本人としての自覚も、異文化交流によって大きな影響力があったことは、今後の後輩たちにも胸をはって伝えたいメッセージです。

卒業論文は「The Future in Japan's disaster」島国における災害時の未来を研究しました。自然災害が起きやすい日本において、人の役に立つことはないか。自分は防ぎようのない災害が起きた時に、どういう役割で国民生活を守ることができるのかと考えた時に、船舶エンジンや非常用発電機を国内外でつくっている DAIHATSU DIESEL ダイハツディーゼル株式会社という会社に魅力を感じました。世界シェアも 25 %と国内外を問わずグローバルな思考で働くことができることも、私にとっては絶好の職場だと確信できたからです。

世界中の安全を普及する役割は、私にとっての仕事となりました。AYA で養った精神力と行動力で、国内外どこでも迷うことなく働く自信がもてました。これからも日々努力し、思いやりのもてる社会人になりたいです。

有難うございました。』

今すぐ知りたい!
2019・２０２０年
アメリカ大学奨学金留学
カナダ・アメリカ高校留学
お気軽にIYEO ホームページより
資料をご請求ください。
URL http://www.iyeo.org
お問合せは、IYEO 各地相談デスクまで
フリーコール 0120－52－9686

～お母さまからのお便り～

アメリカ高校交換留学プログラムを終えて

当プログラムの素晴らしさは、出発前より担当カウンセラーと二人三脚でのオリエンテーションがあります。ハンドブックをもとにあらゆる場面について細かく学び、スムーズな留学生活が送れるようなサポート体制が整っています。

また、IYEO(青少年異文化交流推進協会)はCSIETの正規海外メンバーとして、米国受入奨学財団の正式業務委託を受けた在日本窓口です。就学中の問題発生についても円滑な助言を受けることが出来、安全面も最大限に考慮して頂けました。

オリエンテーションを進めるにつれ、子供の意識は自分で考えた内容を行動にうつせるように、さらには責任感をもって臨めるようにと、自発的な考えがもてるように変化していきました。

交換留学中はホストファミリー、ローカルコーディネーター、現地の校長先生をはじめ、高校の先生や友人その他すべての方々と全力で毎日を過ごせたように思い出されます。本場の野球チームにも所属し、スポーツを通してかけがえのない友情や、すべての人に対しての優しさ、家族に対しての思いやりなど、様々な精神的な成長も会得したように見受けられました。

親の立場からは、交換留学にあたり失敗や恥ずかしさも若い頃に経験してみては、良いことばかりの毎日では面白くないよ、色々な体験をして来なさい、と励まし送り出した記憶があります。

AYAは、アメリカの公立高校に現地の高校生と同じ就学環境で通学します。家族のサポートを受けながら、スクールバスに乗り、カフェテラスでランチを食べ授業を受け、スポーツをし、日曜日には教会に通い、ボランティア活動を積極的に行うことになります。そのようなことから、AYAは他のプログラムと違い国際社会人としての必要な理解力、判断力、適応力、協調性を身につける教育プログラムとして位置付けられています。

近年では世界標準として、自国以外の文化も共通の話題として理解し合う時代となりました。このような環境下、アメリカという多国籍の中で一年間を過ごすことのできる交換留学生はたくさんの知識や経験ができる、有意義な時間を与えられた高校生活となるのです。

頑張ったことが将来、自分自身の自信にきっとつながることと思われます。選ばれた人ではなく、やってみたいと勇気をもって行動できた人に扉が開かれます。夢を叶える第一歩として、多くの高校生に挑戦していただければと心より願っております。

母より

2019年　サマープログラム in Canada, Langley

IYEOでは、夏休みに参加できる2週間のサマープログラムもご案内しています。詳しくは専用資料をご確認ください。

対　象：12～18歳（中学・高校生）

日　程：2019年7月28日～8月10日

締切迫る！申込期日：(2019年4月15日)

カナダ公立高校留学プログラム 参加者の近況報告

橋本優作君（札幌デスク）

2018年9月、Langley Secondary Schoolに入学しカナダでの高校生活を開始した橋本優作君から前期終了に合わせてお便りが届きました。後期はベースボールアカデミーに在籍することになり、益々充実した生活を送っているようです。

『こんにちは！早いもので2018年9月に始まった前期が終わり、2月から後期に入りました。新たな友達もできて安定した生活を送っています。今学期はベースボールアカデミーの野球クラスも始まったので、後期に登録した科目、野球にもしっかり取り組み、また現地の人達との関わりを大切にして、日々英語力向上に努めたいと思います。残り期間も充実した時間を過ごしたいです。』

↑橋本君・Gym Classのクラスメートと一緒に！

Academic Year in JAPAN 参加者体験談

LIN I-Tina(Tinaティナ)/台湾

滞在：2018年9月～現在

滞在高校：尾道高校（広島デスク）

『こんにちは、私は今広島の尾道に留学していて、台湾から来たのティナです。留学の生活は今までもう四か月でした。毎日来た前に思ったより楽しかったし、そんなに怖くなっかたです。ホームステイ、学校の先生、クラスメイト、あとはプログラムの人、みんな優しいです。この間、色々な人としゃべったし、勉強も頑張っているので、日本語の能力もどんどん上手になりました。

今回は学校のことについて話したいと思います。台湾の学校と違って、授業の時間は短くなって、その後は全部部活の時間ですから、毎日楽しいです。学校の授業は自分で選べられます。私は受けないのは古典と日本史です。その時間は日本語を自習するし、先生との勉強もします。今一番好き、でも一番「面倒

ホストファミリーとの写真

くさいなー」と思う科目は現代文です。好きなところは文章を読むこととか、作者の意味を了解するために討論することです。ちょっと嫌だところはいっぱい漢字のテストです。台湾は漢字を使っている国として、意味を了解することはできますが、読み方を覚えるのはとても大変です。

授業だけではなく、私は学校月一回のテストも受けてみました。台湾との比べて難しいですが、答えるときはいろいろな種類の問題もあるから、面白かったと思います。（台湾のテストはほぼ選択問題です。）

私は剣道部と国際交流部に入っています。剣道をやることは初めてですから、動作が当てるかどうか、声を出すこととか、一切は新鮮です。今までは試合に一回出ました（全部負けましたけど笑）。本当に珍しい経験と思います。国際交流部はほぼ外国の先生と一緒に英語で話す部活です。英語の活動をやります。例えば、文化祭のとき、「Pie Me in The Face」（パイを投げ）というゲームをしました。挑戦者たちは英語の問題を聞いて、一番答えられる人は部員にパイを投げれます。とても楽しかったでした。

今は文化祭がもうしました。私のクラスがお化け屋敷をしました。私はお化け屋敷に入るのは嫌だけど、自分でやったら面白かったと思います。その日はとてもいい思い出しを作りました。次は球技大会と体育祭に楽しみにしています。

今は日本語能力試験二級に目指して勉強しています。これからはもっと頑張ります。』

NAPAVORAKUL Phatsawi（リンちゃん）/タイ

滞在：2016 年 9 月～ 2017 年 7 月

滞在高校：千葉県立成田国際高校（千葉デスク）

現在、大学１年になったリンちゃん。今年の冬(2019 年１月 20～24 日までの 5 日間)にタイの大学生対象のモニターで来日してくれました。千葉でおなじみの観光スポット、成田山新勝寺、鴨川シーワールド、マザー牧場、東京ドイツ村、佐原の街並みなど千葉の観光地を紹介するために千葉に戻って来てくました。さらに日本語力を磨き、パワーアップして来日してくれました！！

～以下、リンちゃんより～

『今回の千葉に来た目的は 「Chiba Guide Rally」 と言うプログラムを参加することを出来て、千葉の中に観光地で経験しました。日本語を話せる人とか興味がある人で テストと面接して受けたら 参加することができます。私が色んな所へ行ったり、新しい事をチャレンジする事が大好きなので、この機会があって凄く良かったです。

約一年間日本で留学したの忘れない体験と私に役に立った事は頑張った事で、例えばどんな辛い事があっても自分の力を出して頑張って前に進めばいいよと自分が思っていました。後一つは人が優しくしてくれた時、 困った時に助けてくれた人 今までも感謝しています。それこそ私が頑張る事が出来て、自身で居られました。

将来は日本からの物を輸入して、自分の店を持ってタイ人に色んな日本の物を知らせたいと思って、 私は前からお茶と抹茶が大好きなので、タイで自分のお茶のカフェを持ちたいと思っています。』

Chiba Guide Rally 2019（右から３番目がリンちゃん）

JORADOL Chanon（たーくん）/タイ

滞在：2016 年 9 月～ 2017 年 7 月

滞在高校：福岡県糸島高校（福岡デスク）

『私はジョラドン　チャノンと申します。しかし、ターと呼んでも構いません。今、私は日本の大学受験生です。自分の交換留学生としての経験を語って欲しいと頼まれて、そして、自分の海外冒険を他の人にも語りたいので、この記事を必死に書きました。

2 年前、私は IYEO の交換留学生として福岡県立糸島高等学校に留学しました。その時のことを思い出すたびに、いつも懐かしい気がしています。支えてくれた人も応援してくれた人も本当

にありがたい存在だと思います。もし、貴方がいなかったとすれば、私にはこんなかけがえのない経験をすることができませんでした。

初めて日本に来た日　来日は自分の人生で大きな一歩でした。家族と離れて、よその国へ一人で行くのは普通の高校生にとって、とても大変なことです。日本語ができなくて、日本の文化が全然わからなくて、これは一番困ったことです。その時、私は何か困ったことがあってもコミュニケーションも取れないし、助けてとも言えません。しかし、空港のゲートから出て、コーディネーターに会うことができました。コーディネーターは事務所に私を連れて行って、ホストファミリーに関する情報と日本の文化を詳しく教えてくれました。そして、夕方になると私をホストファミリーの家へ連れて行ってくれました。ホストファミリーに会う前は緊張で怖かったですが、初めて会った時にお父さんとお母さんは優しかったので、恐怖の気持ちとストレスが完全になくなりました。お父さんは英語が話せますが、お母さんは日本語しか話せません。ですから、私はお母さんと日本語でやり取りをしたいと思いました。それで、お母さんと話せるようになることを目標にしました。目標を立てたからには、最後まで頑張ろうと思いました。

初めて高校へ行く日　初めて高校へ行く日、コーディネーターが連れて行ってくれました。１０月の寒さとタイの制服。どう見ても季節と合わなくて、とても寒かったです。高校に到着し、校長先生や担任の先生に自己紹介し、そして、クラスメートの前でも自己紹介しました。皆は興味津々で私を見ていると感じました。初めてクラスメートと話してみて驚きました。それは、皆使っている日本語が博多弁だったからです。私は標準語しか学んでいませんでした。話すのはともかく、聴き取ることまでできませんでした。そして、私の大変な留学生活が始まったんです。

日本語　日本語で授業を受けることは私にとって、とても難しかったです。最初はクラスメートと一緒に勉強したいですが、日本語が難しすぎて、授業を受けてもなかなか理解できませんでした。そのため、日本語を自習して、理解できない文法や漢字があったら、壮太君という隣の友達に聞きました。

いつ日本語がわかるようになるかという問題は、人によって、それぞれだと思います。私の場合は４ヶ月以上かかって日本語がわかるようになりました。最初は無理だと思いましたが、一生懸命頑張って、日本語がわかるようになりました。だから、新入生に言いたいことの第一は努力です。必死に頑張っていますか。必死に頑張らないで後で振り返ったら、後悔しかねません。

日常生活　私の日常生活は午前の６時に起床して、７時半に家を出て、バスと地下鉄に乗って、学校へ到着するまで１時半ぐらいかかりました。教室に到着し、授業が始まると共に自習が始まります。昼休みは日本人の友達と食堂に行って食事をしました。私は友達が少なかったが、友達の数より気が合う関係の方を重視していましたから、それは問題ではありませんでした。授業が終わったら、吹奏楽部に参加していました。毎日、２～３時間くらいバイオリンを練習し、午後の６時半に帰宅していました。

留学生活の私の転機は初めて日本語能力試験 N3 を受けたこととホストファミリーを変えたことです。

初めて日本語能力試験を受けて、N3 は不合格だったんですが、自分が一生懸命頑張りましたので、不合格になっても、後悔はしませんでした。

ホストファミリーを変えたこと。私にとって、これも大きな変化です。６ヶ月経って、ホストファミリーと馴染んだばかりだったものの、ホストファミリーを変えることなんて考えても見ませんでした。しかし、これは良い経験になるとコーディネーターから言われましたので、私はそれを信じ、ホストファミリーを変えました。新しいホストファミリーもとても親切でした。それに加えて、このホストファミリーはクラスメートの家族なので、もう一人の友達ができました。

新しいホストファミリーで、特にお母さんはいつも親切にしてくれました。末っ子のように世話をしてくれました。今でもありがたい存在です。

帰国する日が来た　帰国する前に私は同級生の前で自分の気持ちと自分の意見を発表しました。そして、クラスメートは私のため、Party を行なってくれました。とても感動しました。日本は私に色々なことを教えてくれました。幸福やら悲哀やら快適やら苦労やら。その全てはかけがえのない経験になりました。一年を通して日本のことにより興味を持つようになりましたので、タイに帰って、高校を卒業して、また、日本に戻るつもりがありました。

その希望を叶えるため、タイの高校にいても、私はいつも日本語を勉強していました。高校を卒業して、福岡 YMCA 国際ホテル・福祉専門学校日本語科に入学しました。そして、大学に行くために、日本留学試験の準備を始めました。毎日１２時間勉強して、良い点数が取れました。頑張ったことが形になって本当に嬉しかったです。

タイの言い方でこんな言い方があります。「努力は努力家を裏切らない」やるからには、最後までやるべきです。走り始めたら、ゴールまで走るべきです。ゴールに着いたら、どれくらい嬉しいか、実感してみて欲しいと思います。

ありがとうございました。』

CHAIDEE Boonruksa（イムちゃん）/タイ

滞在：2018 年 9 月～現在
滞在高校：広島国際学院高校（広島デスク）

イムちゃんからの感想は英語で届きました。そのまま掲載いたします。

I really proud of myself. And I think I did it very well. I can remember the first time that I camehere there are manythings change about me and I can feel that I growingup verymuch.

Sometime I have to saydiscouraged a little bit and I think those things make me stronger.

For first time I came to this family itreally hard for me because my Japanese is not good it really hard.But I try to adapt myself with them. I like to watch TV with my Host family and listen to their story about their oldlife sometime they showed me an old album about their old life

For first time I don't understand what they said but I when I listen to themeveryday now my Japanese is better than firstday and I love to see them when they tell me some story they are looks very happy. This is a picture New year gift I gave them.

自分で書きましたよ!

They always support me everything. When I feel sick they also take care me like their own daughter. They really care me.

My firstday at school I went to school with my Host father I'm really excited it's my first time to go to school by train. When I get to school everyone stared at me because I wearing Thailand uniform.

For first time I have homesick a little bit and I don't understand lesson in class but I always talk to my home roomteacher and ejima sensei and I happy now

文科省「日本人の海外留学の効果測定に関する調査研究」成果報告書を公開！！

文部科学省は、平成 29 年度（2017 年度）「日本人の海外留学の効果測定に関する調査研究」成果報告書を Web サイトにて公開しました。

「日本人の海外留学の効果測定に関する調査研究」は、さまざまな期間・形態の海外留学について詳細に調査・分析し、その成果の可視化を図り、より効果的な日本人の海外留学施策の検討に資するデータなどを得ることを目的に、文部科学省が河合塾に委託し、実施したものです。河合塾では、2016 年度に初めて実施した「グローバル社会に対応した大学教育調査」の成果と、日本学生支援機構が日本人留学生に行ったアンケート調査の結果をもとに、教育効果の高い海外留学・海外プログラムを追求すべく調査研究に取り組みました。

成果報告書では全 393 ページにわたり、アンケートの集計・分析結果と、実際に大学へ赴いてヒアリングした 16 大学・プログラムの詳細、実際にその海外留学に参加した学生のインタビューを掲載しています。

成果報告書では、留学・研修前のオリエンテーションの有無が留学満足度に影響していると分析しています。オリエンテーションが「十分あった」「すこしあった」「あまりなかった」の回答別に留学満足度を見たところ、順に 29.6％、21.6％、21.3％となっており、「十分あった」と答えた人の満足度がほかと比べて高い結果となっています。

留学前後での能力は、短期や長期といった留学期間に関わらず、約半数の学生が「能力が伸びた」と自己評価しており、留学した学生が特に伸びを感じていたのは、「積極的に発信できる」「外国人との交流がある」「留学先社会・文化への知識」でした。

また、留学期間を 3 か月未満と 3 か月以上の 2 群に分けて比較したところ、「自分からやるべき課題を見つけて率先して取り組む」「文化背景の異なる場でのリーダーシップ」などの項目について、長期間（3 か月以上）留学する方が短期間（3 か月未満）の留学よりも明らかに伸びが大きいという結果となてています。一方、「留学先社会・文化への知識」については同等の伸び、「語学へのモチベーション」については短期間の留学の方が高い伸びを示しました。

海外留学支援制度による奨学金がなくても「留学した」と回答した学生は、2013 年度から 2015 年度の調査では過半数を占めていましたが、2016 年度の調査では 41.6％にとどまりました。このほかの回答の内訳は「どちらともいえない」28.5％、「留学しなかった」29.9％となっており、留学を加速させるための金銭的支援の重要性が経年で高まりつつあることがわかります。

成果報告書は、文部科学省 Web サイトにて閲覧可能です。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1411310.htm

連載 世界のお祭り 特別番外編

日本の元号

5月からの新元号が4月1日、「令和（れいわ）」に決まりました。日本最初の元号とされる「大化」から数えて248番目の元号となりますが、現在、元号が残っているのは世界で日本だけです。平成最後のNews Avenueでは元号を用いてきた国の歴史をご紹介します。

元号を用いた国

中国：前漢の武帝の治世・紀元前115年頃に、統治の初年に遡って「建元」という元号が創始されて以降、清まで用いられた。

大韓民国： 1919年～1961年檀君紀元（檀紀）を採用したが、1962年からは西暦に切り替えた。

ベトナム： 中国から独立した970年、時の丁朝が太平の元号を制定して以来独自の年号が使われ、1945年の阮朝滅亡まで続いた。

最も期間の長い短い元号

日本で最初の元号は孝徳天皇の時代に「大化（たいか）」が用いられたのが最初であるとされているが、その後の長い歴史の中で、地震や天変などにより元号を改めてきた。

最も期間の長い元号は昭和の62年と14日（西暦1926～1989年）。最も期間の短い元号は暦仁の2か月と14日（西暦1238年11月23日～1239年2月7日）である。昭和は日本だけでなく、元号を用いていたすべての国の元号の中でも最も永い元号である。

現在、西暦での表記も一般的になりましたが、1964年（昭和39年）の東京夏季オリンピックに向けてのキャンペーンを経た後から。 （Wikipediaより抜粋）

「令和」は、万葉集にある梅花の歌三十二首序文からの引用で、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められているそうです。明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そんな希望に満ちあふれた時代になるとよいですね。

活動報告＆お知らせ

【活動報告】

3/16 アメリカ大学奨学金留学説明会（札幌）
3/21 アメリカ大学奨学金留学説明会（福岡）
3/23-4/5 広島女学院中学高等学校 University of Mount Union短期研修プログラム（広島）
3/23-3/30 アメリカ大学視察＆語学研修プログラム（KNT中国四国＆広島）
3/31 アメリカ大学奨学金留学説明会（広島）

【お知らせ・活動予定】

4/7 アメリカ大学奨学金留学説明会（千葉）
4/7 アメリカ高校交換留学（千葉）
4/7 カナダ公立高校留学説明会（千葉）

編集後記

今回はＩＹＥＯのプログラムの参加者の声をたくさんお届けできた号になりました。みなさま、いかがでしたか？新しいことにチャレンジすることはとても困難で、苦しいことも多いと思います。「辛」くても、ひとつ努力を足すと「幸」になります。異文化体験をしたいあなたを「幸」せになれるよう、各デスクのスタッフ一人ひとりが応援しています！

IYEO千葉 永嶋

季刊誌 「IYEO News Avenue Vol. 43」 2019年4月2日号
発行 青少年異文化交流推進協会 JAOS 一般社団法人海外留学協議会会員
〒730-0052 広島市中区千田町2-1-2 TEL 082-246-9400 FAX 082-243-1849
URL：www.iyeo.org e-mail：info@iyeo.org
編集 青木晶子（IYEO札幌）永嶋由美（IYEO千葉）八木ゆう子（IYEO広島）竹沢美津江（IYEOパース）